

# 香川大学 瀬戸内圏研究センターシンポジウム

香川大学瀬戸内圏研究センターでは、令和4年度より瀬戸内海の「環境・資源研究」と「地域産業振興」に特化した研究活動に取り組んでおり、新たなプロジェクト研究を始動させています。さらに、本学は「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」(J-PEAKS)に採択され、令和6年度から東京藝術大学と連携しアートとサイエンスの融合に基づく事業を展開しています。本シンポジウムでは、餌料としての海産微細藻類の増殖や栄養価について研究を進められている山崎康裕様(国立研究開発法人水産研究・教育機構水産大学校)に基調講演をいただきます。また、本センターで現在実施しているプロジェクト研究とJ-PEAKS事業の成果について3名の講演者よりご紹介します。これまでの研究内容や成果を共有し、様々な立場からの忌憚のないご意見をいただくことで、今後さらに瀬戸内圏地域に根差した研究を進め、地域社会への貢献を目指します。

令和8年

1/29 木

13:30 ~ 16:55

参加費  
無料

会場

高松シンボルタワー 1階 展示場

(香川県高松市サンポート2-1)

<https://www.symboltower.com/>

主催

香川大学瀬戸内圏研究センター

開催方法

現地参加(50名程度を予定)

申込方法

応募フォームからお申込みください

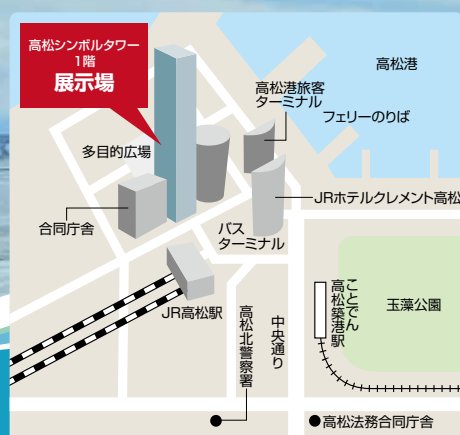
<https://forms.office.com/r/jjvS1VUK2y>

\*ご入力いただく個人情報は、瀬戸内圏研究センターが実施する講演会、シンポジウム等の案内に利用させていただいております。



申込期限

令和8年 1月22日(木)



問合先

香川大学 学術部 研究協力課

TEL:087-832-1352 FAX:087-832-1319

E-mail:kenkyust-h@kagawa-u.ac.jp

令和7年度  
香川大学 瀬戸内圏研究センターシンポジウム

司会・座長：瀬戸内圏研究センター長 一見 和彦

開会	冒頭挨拶 香川大学長 上田 夏生	13:30～13:40
基調講演 (45分)	「稚貝期のアサリを用いた室内実験で垣間見た 二枚貝が好む餌料と給餌法」 山崎 康裕 氏 (国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産大学校・准教授)	13:40～14:25
質疑応答 (10分)	質疑応答	14:25～14:35
研究報告1 (30分)	「海洋生態系を栄養価で読む」 中國 正寿 氏 (香川大学瀬戸内圏研究センター・特命助教)	14:35～15:05
質疑応答 (5分)	質疑応答	15:05～15:10
休憩 (10分程度)	休憩	15:10～15:20
研究報告2 (30分)	「瀬戸内海の微生物と物質循環」 松沢 智彦 氏 (香川大学農学部・准教授)	15:20～15:50
質疑応答 (5分)	質疑応答	15:50～15:55
研究報告3 (30分)	「海は題材から“現実”へ ～科学者との共有体験が動かすアーティストの視点～」 井上 裕史 氏 (東京藝術大学藝術未来研究場・特任准教授)	15:55～16:25
質疑応答 (5分)	質疑応答	16:25～16:30
総合討論 (15分)	総合討論	16:30～16:45
閉会	閉会挨拶 香川大学研究担当理事 秋光 和也	16:45～16:55